

白河市立大信中学校だより



三年先の稽古

令和6年6月26日
第18号

発行責任者：校長 亀田征利

教育目標
～ 夢を求め、健やかに
温かい生徒の育成 ～
たい たくましく健やかな生徒
い のちを尊ぶ温かな生徒
ん 真実と夢を追求する生徒

真剣に臨む定期テスト（6/25：中間テスト）

6月25日（火）今年度初の定期テストが行われました。1年生は入学後初めてのテストとなり不安もあったことと思いますが、普段の授業や家庭で学習した力を発揮しました。

生徒の皆さんには、定期テストを機に次のようなことを考えて欲しいです。

- ・ 2～3週間前から計画を立て準備をする。（自己マネジメント）
- ・ 定期テストの結果から、得意分野と苦手分野を知る。（結果から分析）
- ・ 定期テストの結果から、取り組み方を反省する。
- ・ 定期テストを一つの区切（ショートスパンのゴール）と考える。
- ・ 定期テストを良い機会ととらえ、自分の力を伸ばす工夫をする。
- ・ 定期テストを良い機会とし、家庭学習の習慣化を確立する。

定期テストに向けた生徒の取り組みと先生方のコメントを紹介します。（R5）

- ・ 量質転化 まずは量を意識!!、部活動も練習量大事だね!!
- ・ 丸つけをして振り返ることが大事
- ・ 間違えたところを何度も書いている
- ・ 目標を決めて取り組むNice
- ・ 丸つけをして振り返りgood
- ・ 手首にいかにも練習させるかです。
- ・ 計算はたくさん解いてスピードアップ
- ・ 書いて書いて書きまくる!!
- ・ ×のついたところがお宝です。だってそれを覚えると伸びるのですから。



＜定期テストに真剣に臨む生徒たち＞



さらに自分を伸ばす

中学校では、今年度から生徒たちの持っている力をさらに伸ばすため、自己マネジメント力を育成させるフォーサイト手帳を採用しています。

- 見通し力UP
- 自己調整力UP
- 目標達成率UP

生徒の皆さんには、自分なりの工夫で上手に活用して欲しいと考えています。

大信中生ファイト

ここからが大事です

6月25日（火）今年度初の定期テストが行われました。1年生の皆さん中間テストはどうでしたか。定期テストを一つのゴール、区切りとして数週間前からテスト勉強に取り組んできた結果がでました。納得のいく結果が得られた生徒とそうでない生徒に分かれるかもしれませんが、ここからが大事になります。納得のいく結果の生徒は、おおいに自分で自分を褒めてください。（やればできる、私はよくやった。）そして、油断することなく次の目標に向かって、今行っている努力を続けてください。「続ける」ことが大事です。思うように力が発揮できなかった生徒は、伸びるチャンスです。悔しい気持ちをバネにして、自分を追い込むことができます。皆さんは、どこまでも伸びる「バネ」を持っています。皆さんの持つ可能性を最大限に伸ばすチャンスにして欲しいと思います。これからの人生においても、自分の思うような結果が得られないことが多々あると思いますが、その後どうするかが大事になってきます。

良い結果・・・油断しないでこの調子で続ける。

悪い結果・・・伸びるチャンスです。

今から始め、そして続ける。中学校では、おおいに失敗し、その失敗から学び、一步一步着実に成長して欲しいと思います。

「失敗から学ぶ」を意味する偉人の名言を紹介します

- 「失敗が人間を成長させると考えている。
失敗のない人なんて本当に気の毒に思う。」
本田宗一郎(本田技研創業者)
- 「成功を祝うのはいい。
しかし、もっと大切なのは失敗から学ぶこと。」
ビル・ゲイツ(事業家)
- 「失敗など一度たりともしていない。
これでは電球は光らないという発見を、いままでに20000回してきたのだ。」
トーマス・エジソン(発明家)
- 「失敗は失敗で終わるから失敗になる。」
長谷川穂積(プロボクサー)

※ 3 学年実力テスト : 6 月 2 7 日 (木)

※ 1 ・ 2 年生実力テスト : 7 月 1 7 日 (水)

みんな F i g h t